

株式会社 兵庫アクアテック



2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年10月～2024年 9月)

発行日: 2024年11月28日

ごあいさつ

当社は、高度な技術と真心の信頼企業を目指して、優れた技術で社会に貢献し、会社の発展と皆様の幸福を追求してまいりました。

エコアクション21を取得し、さらに地球環境の保全のために全従業員一同研鑽向上し、取り組んでいきたいと思っております。

環境経営方針

当社は、電気工事、管工事及び機械器具設置工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、経営における課題とチャンスを定期的に明確化し、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境経営システムを維持し、継続的に改善していきます。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
(電力、ガソリン、軽油、灯油)
4. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
5. 水使用量の削減を推進します。
6. 化学物質使用量の適正管理を推進します。
7. 環境に配慮した施工を推進します。
8. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2020年4月1日

代表取締役 伊藤 嘉章

Ⅱ. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 兵庫アクアテック

代表取締役 伊藤 嘉章

(2) 所在地

本 社 〒671-2246 兵庫県姫路市打越50番地1

資材倉庫 〒671-2246 兵庫県姫路市打越50番地1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 伊藤 寛子

TEL:079-228-0648

FAX:079-229-9128

Email:hiroko.ito@hyogo-aquatech.com

(4) 事業内容

電気工事業、管工事業、機械器具設置工事業

(5) 設立 平成28年3月15日

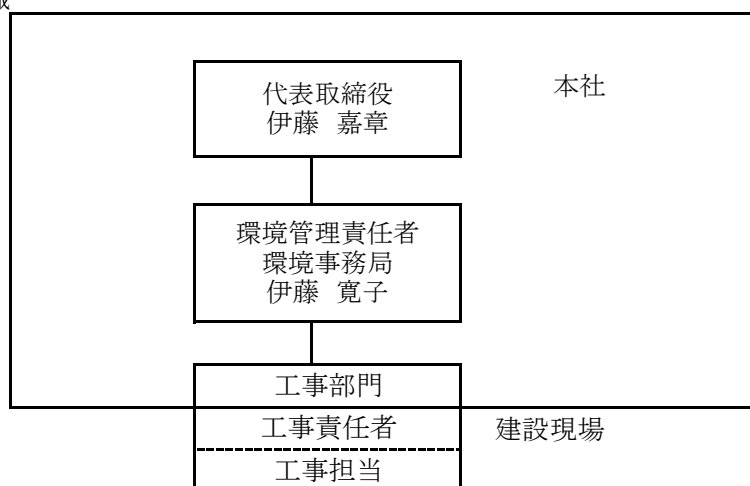
(6) 資本金 1000万円

(7) 事業の規模

①建設業 年間工事完成高 385百万円(2023年度)

	本社	資材倉庫	合計
従業員	8名	無人	8名
延べ床面積	256.32㎡	571.85㎡	828.17㎡
敷地面積	256.32㎡	571.85㎡	828.17㎡

(8) 組織



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(9) 事業年度 10月～翌年9月

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 株式会社 兵庫アクアテック
 対象事業所： 本社・資材倉庫
 活 動： 電気工事業、管工事業、機械器具設置工事業

IV. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	15,305	19,334	20,512	21,692
電力使用量	kWh	12,029	13,628	12,651	13,209
ガソリン使用量	L	4,066	4,762	4,313	4,797
軽油使用量	L	584	1,267	2,243	2,220
灯油使用量	L	126	162	162	126
廃棄物排出量	kg	10,274	6,873	7,357	8,630
一般廃棄物	kg	414	408	380	393
産業廃棄物	kg	9,860	6,465	7,277	8,237
水使用量	m ³	58	47	52	50
化学物質使用量	kg	0	0	3.470	8.646

V. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
項 目						
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	20,512	20,307	20,102	19,897	19,692
	対基準	(2022年度)	△1%	△2%	△3%	△4%
電力使用量削減 排出係数 0.334	kWh	12,651	12,524	12,398	12,271	12,145
	kg-CO ₂	4,225	4,183	4,141	4,099	4,056
	対基準	(2022年度)	△1%	△2%	△3%	△4%
ガソリン使用量削減 排出係数 2.32	L	4,313	4,270	4,227	4,184	4,140
	kg-CO ₂	10,006	9,906	9,806	9,706	9,606
	対基準	(2022年度)	△1%	△2%	△3%	△4%
軽油使用量削減 排出係数 2.62	L	2,243	2,221	2,198	2,176	2,153
	kg-CO ₂	5,877	5,818	5,759	5,700	5,642
	対基準	(2022年度)	△1%	△2%	△3%	△4%
灯油使用量削減 排出係数 2.49	L	162	160	159	157	156
	kg-CO ₂	403	391	387	383	379
	対基準	(2022年度)	△1%	△2%	△3%	△4%
II. 廃棄物排出量		(2020年度)				
1) 一般廃棄物 削減	kg	414	402	397	393	389
	対基準		△3%	△4%	△5%	△6%
2) 産業廃棄物 適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
		・環境関連法規制等遵守 ・マニフェストの適正管理				
III. 建設リサイクル率 の向上	%	53	56	57	58	59
	対基準	(2020年度)	+3%	+4%	+5%	+6%
IV. 水使用量 削減	m ³	58	56.3	55.7	55.1	54.5
	対基準	(2020年度)	△3%	△4%	△5%	△6%
V. 化学物質使用量 適正管理	kg	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
		(2020年度)				
VI. 環境に配慮した 施工の推進	件	環境配慮施工	環境配慮施工	環境配慮施工	環境配慮施工	環境配慮施工
	対基準	(2020年度)				

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力(株)2018年度実績値の調整後係数 0.334kg-CO₂/kWh を使用。

(2) 2023年度の実績

年 度 項 目		基準値	2023年度の実績			
			(2023年10月～2024年9月)			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	20,512	20,307	21,671	94%	×
	対基準	(2022年度)	△1%	-5.3%		
電力使用量削減 排出係数 0.334	kWh	12,651	12,524	13,209	95%	△
	kg-CO ₂	4,225	4,183	4,412		
	対基準	(2022年度)	△1%	1.0%		
ガソリン使用量削減 排出係数 2.32	L	4,313	4,270	4,797	89%	×
	kg-CO ₂	10,006	9,906	11,129		
	対基準	(2022年度)	△1%	-10.1%		
軽油使用量削減 排出係数 2.62	L	2,243	2,221	2,220	100%	○
	kg-CO ₂	5,877	5,818	5,816		
	対基準	(2022年度)	△1%	1.0%		
灯油使用量削減 排出係数 2.49	L	162	160	126	127%	○
	kg-CO ₂	403	399	314		
	対基準	(2022年度)	△1%	28.6%		
II. 廃棄物削減		(2020年度)				
一般廃棄物 削減	kg	414	402	393	102%	○
	対基準		△3%	-5.1%		
産業廃棄物 適正管理	kg	適正管理	適正管理	適正管理	—	○
		9,860		8,237	・環境関連法規制等遵守 ・マニフェストの適正管理	
III. 建設リサイクル率 の向上	%	53	56	100	179%	○
	対基準	(2020年度)	+3%			
IV. 水使用量 削減	m ³	58	56.3	50	113%	○
	対基準		△3%	-13.8%		
V. 化学物質使用量 適正管理	kg	適正管理	適正管理	適正管理	—	○
	対基準	(2020年度)		0	・適正に管理する	
VI. 環境に配慮した 施工の推進	件	環境配慮施工	環境配慮施工	環境配慮施工	—	○
	対基準	52件(2020年度)		77件		

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○:達成(100%以上)、△:やや未達成(95%～100%未満)、×:未達成(95%未満)

注3) 環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、廃棄物適正処理・3Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。

注4) 「建設リサイクル率の算出式」 再資源化率＝再資源化量／産廃発生量×100

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減		(目標未達成)
(下記の通り)	△	(下記の通り)
電力使用量の削減		(目標やや未達成)
・空調温度の適正化	○	意識付けが出来ているが、猛暑により目標達成ができていないので、節電に努めていく。
・不要照明の消灯	○	業務多忙につき使用時間が増えており照明を使うことが多くなっている。不要照明の消灯を徹底して削減に努める。
・空調設備の無駄な運転を削減	○	エアコンはこまめに入・切の操作をするようさらに心掛ける。
ガソリン使用量の削減		(目標未達成)
・アイドリングストップ	○	業務の増加と遠方の工事案件が多かったため、使用量が増加したが、乗り合わせ等を徹底し、削減に努める。
・空気圧、オイル等の点検	○	定期的に点検することを心掛けるようになったので継続して取り組む。
軽油使用量の削減		(目標達成)
・アイドリングストップ	○	遠方の工事案件が多かったため、使用量が増加したので、乗り合わせ等を徹底し、削減に努める。
・空気圧、オイル等の点検	○	定期的に点検することを心掛けるようになったので継続して取り組む。
灯油使用量の削減		(目標達成)
・不在時点火の抑制	○	冬場のストーブの使用に際しては不在時は消していることで事務所内の換気を続けながら、引き続き削減に取り組んでいく。
一般廃棄物の削減		(目標達成)
・ミスコピー防止の継続	◎	削減に努めているのでこれからも意識付けを徹底する。
産業廃棄物の適正管理		(目標達成)
・環境関連法規制等遵守	◎	引き続き法規制遵守に努める。
・マニフェストの適正管理	◎	さらに管理徹底を周知して取り組む。
建設リサイクル率の向上		(目標達成)
・分別によるリサイクル推進	◎	次年度も、左記取組を継続する。
水使用量の削減		(目標達成)
・節水の周知徹底	◎	節水を心掛けるよう引き続き教育により意識徹底する。
・清掃時・手洗い時の節水	○	節水を心掛けるよう引き続き教育により意識徹底する。
化学物質使用量の適正管理		(目標達成)
・適正に管理する	◎	次年度も、左記取組を継続する。
環境に配慮した施工の推進		(目標達成)
・環境配慮施工	◎	各種工事分野の環境配慮施工を推進する。

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理、簡易点検と記録・同保存(3年) 該当機器有無の事前調査、調査結果の発注者への書面説明・交付・同説明書面の写し(3年保存)	遵守
PCB特別措置法	自らの責任において確実かつ適正に処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は「高度な技術と真心の信頼企業」を理念とし、安心・安全・快適な空間をお客様に提供できるように取り組んでいます。お客様のニーズがますます多様化、高度化する環境の中で、それに幅広く対応できる企業体制を整え、優れた技術力と提案力を発揮し、地域社会の発展に貢献してまいりました。

エコアクション21に取り組むことで、さらに地球環境に貢献できるよう社員一同意識づけを行い、研鑽を重ねております。

令和元年5月1日に本社を移転してから、職場環境を充実させ、業務拡大に一層取り組んできました。環境に配慮した企業となるよう、社員一丸となって使用量の削減に取り組んでいます。皆が創意工夫し、二酸化炭素の排出を抑える意識を持っていることが大きな成果です。

電力については、省エネ対応の業務用エアコンを新たに1台設置しましたが、フィルターの定期的な清掃・交換など適正に管理しております。また溶接工の入社に伴い、倉庫での鋼材加工を行うことが増えていますが施工方法や作業方法を工夫しながら作業を進めています。その他夜間や休日は、パソコン、プリンターなどの主電源を切るなど節電に取り組んでいるので継続して削減に努めていきます。

ガソリンについては、市外の工事現場への移動が増えたため使用量が増えましたが、乗り合わせ等移動運搬予定を見直し、エネルギー消費の少ない運搬を行っています。軽油については、工事の規模が大きくなったことに伴い自社トラック、リーストラックでの移動が多くなりましたが、排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行い、適正に使用しています。建設機械も定期的自主点検の他、施工開始時などの点検を引き続き実施してまいります。

環境に配慮した施工を推進していくため、情報収集を行い、研修等を受けることによって技術を高めていきたいと考えております。

安全で高品質な施工のため、絶え間ない技術の研鑽に努めるとともに、エコアクション21の取り組みを通じて更なる啓蒙活動を行い、今後も全社員への徹底を図って行きます。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	否	-

2024年11月28日

代表取締役 伊藤 嘉章

IX. 環境への取組の紹介

<消火訓練>



<ごみの分別>



<清掃活動>

